

社会資本総合整備計画書

いしかわけんうちなだまち
(石川県内灘町)

平成30年 2月 9日 提出
平成31年 1月18日 変更(第1回)
令和 2年 1月24日 変更(第2回)
令和 3年 1月28日 変更(第3回)
令和 3年12月16日 変更(第4回)

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

令和3年12月16日

計画の名称	内灘町防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	内灘町		
計画の目標					

本町では、これまでハザードマップの作成や地域防災計画で指定する避難所の耐震化に集中的に取り組み、平成29年度末で全指定避難所32箇所のうち31箇所の耐震化整備が完了する。今後も防災意識を薄めることなく、町民が安心・安全に暮らせる災害に強いまちづくりを実現するため、平成30年度からは、避難所として指定されている小学校等を中心とするエリアにおける避難路の整備や防災施設の整備を集中的に実施する。
また、平成26年度より毎年1小学校下を対象とし、学校、警察署、道路管理者、地域の関係者等による通学路の合同点検を実施してきたところであるが、この取組を継続し、避難路整備と併せて子どもの通学路等の安全性対策を実施し、地域と一体となって、町の防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画にて避難所として指定されている小学校への避難路の整備による安全性確保率の向上 ・各自主防災組織におけるパトロール隊の育成による子どもの安全性の向上 ・地域防災計画にて指定されている避難所・避難場所周囲の道路における歩きやすい歩行空間の確保 				
----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値									
	(H30当初)	(R2末)	(R4末)									
避難所として指定されている小学校への避難路の整備による安全性確保率の向上 (%)	47%	49%	50%									
5名以上のパトロール隊を確保している自主防災組織の割合の増加 (%)	66%	72%	77%									
避難所・避難場所周囲の道路における歩きやすい歩行空間確保率の向上 (%)	83%	84%	87%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	365.00百万円	A	308.62百万円	B	—	C	56.38百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	15.4%

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
A13-001	都市防災	一般	内灘町	直接	内灘町	地区公共施設等整備（内灘南部地区）	避難路整備 L=2,170m W=6~7m	内灘町						275.62	—		
A13-002	都市防災	一般	内灘町	直接	内灘町	地区公共施設等整備（内灘南部地区）	避難地整備 A=1,175㎡	内灘町						33.00			
合計													308.62				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考		
									H30	H31	R2	R3	R4				
C13-001	施設整備	一般	内灘町	直接	内灘町	避難路安全対策事業	避難路の整備	内灘町						40.73			
C13-002	施設整備	一般	内灘町	直接	内灘町	公園施設安全対策事業	遊具等の公園施設整備	内灘町						15.65			
合計													56.38				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C13-001	避難所となる小学校周辺の避難路の整備を行うことで、子どもの安全性対策を併せて実施する。																
C13-002	避難所となる小学校周辺の公園施設の改築を行うことで、子どもの安全性対策を併せて実施する。																

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

令和3年12月16日

計画の名称	内灘町防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	内灘町		
計画の目標	<p>本町では、これまでハザードマップの作成や地域防災計画で指定する避難所の耐震化に集中的に取り組み、平成29年度末で全指定避難所32箇所のうち31箇所の耐震化整備が完了する。今後も防災意識を薄めることなく、町民が安心・安全に暮らせる災害に強いまちづくりを実現するため、平成30年度からは、避難所として指定されている小学校等を中心とするエリアにおける避難路の整備や防災施設の整備を集中的に実施する。</p> <p>また、平成26年度より毎年1小学校下を対象とし、学校、警察署、道路管理者、地域の関係者等による通学路の合同点検を実施してきたところであるが、この取組を継続し、避難路整備と併せた子どもの通学路等の安全性対策を実施し、地域と一体となって、町の防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。</p>				

交付金の執行状況

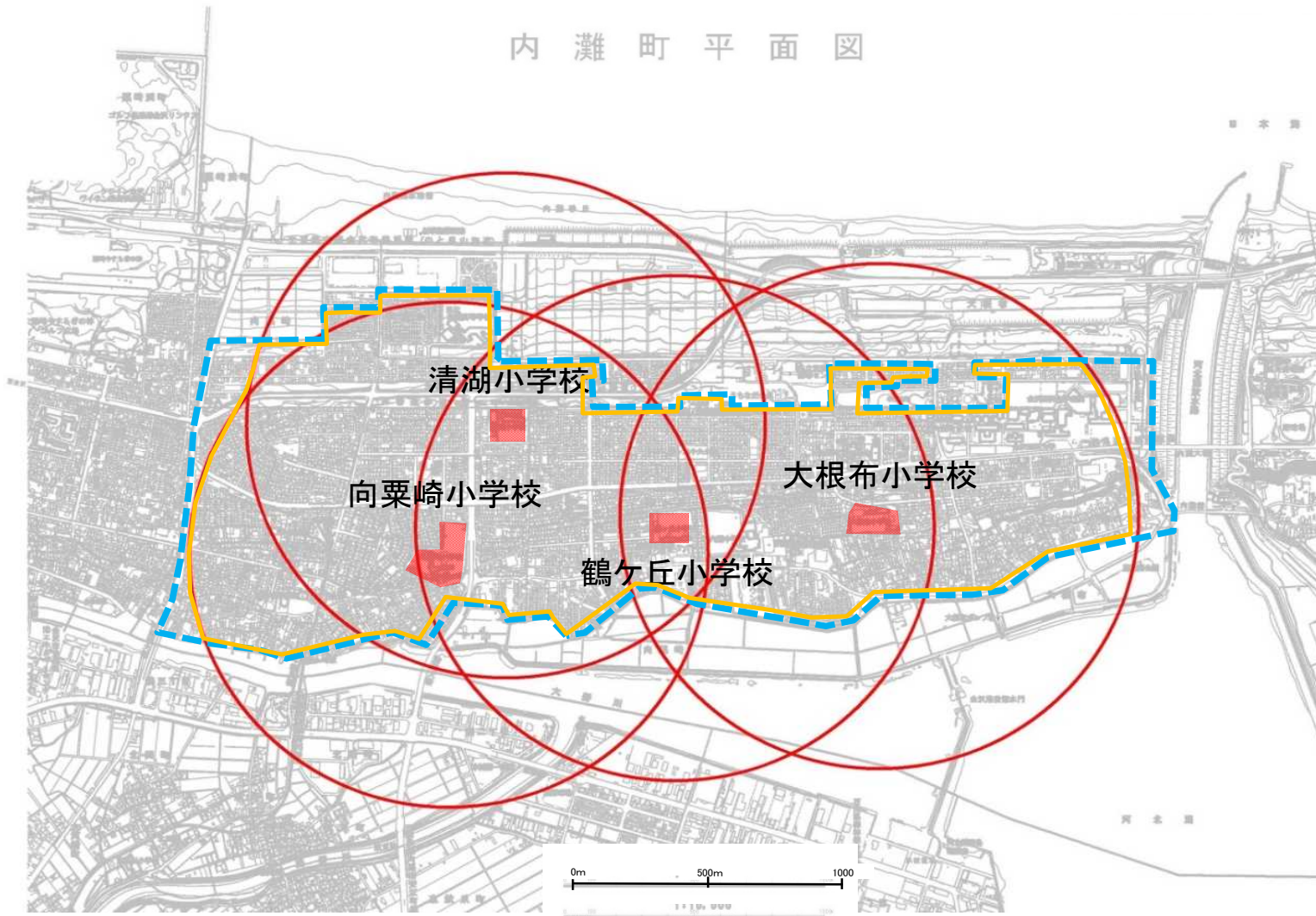
（単位：百万円）

	H30	H31	R2	R3	R4
配分額 (a)	11.0	15.8	4.5	73.4	73.9
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額 (c=a+b)	11.0	15.8	4.5	73.4	73.9
前年度からの繰越額 (d)	0.0	3.5	5.0	0.0	16.1
支払済額 (e)	7.5	14.3	9.5	57.3	77.6
翌年度繰越額 (f)	3.5	5.0	0.0	16.1	12.4
うち未契約繰越額 (g)	3.5	5.0	0.0	13.7	3.9
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31.8%	25.9%	0.0%	18.7%	4.3%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	平成30年度第二次補正予算のため	平成31年度補正予算のため		関係機関との協議に不測の日数が生じたため	

※ 令和4年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面（防災・安全交付金）

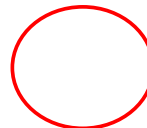
計画の名称	内灘町防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	内灘町



- A13-001 : 地区公共施設等整備(内灘南部地区)
- A13-002 : 地区公共施設等整備(内灘南部地区)
- C13-001 : 避難路安全対策事業
- C13-002 : 公園施設安全対策事業

事業区域

DID区域



対象小学校から半径1km